

# CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 16 No.1 2014年1月15日号

問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp) 読者登録：<http://cnar.jp>

Copyright 2014 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### ■エルモ社、テレワーク/サテライトオフィス向けソリューションの販売推進を強化

株式会社エルモ社(愛知県名古屋市)は、テレワーク/サテライトオフィス向けソリューションとして、「ビジュアルプレゼンターMO-1」「モバイルプロジェクター BOXi」「インタラクティブ書画カメラ L-12i」などの販売展開を推進している。(取材:2013年12月10日エルモソリューションフェア 2013)

テレワークは日本で広がりつつある中、安倍政権が6月に打ち出したIT政策の新戦略にテレワーク推進を盛り込んだのはエルモ社としても追い風と見る。

「テレワークが普及するにつれ、そのコミュニケーションツールとしてのテレビ会議やWeb会議も広がっていくだろう。また最近ではWeb会議などと組み合わせたマイクスピーカも多用されているようになってきている。しかし、それらに加え通常オフィスにあるプロジェクターや書画カメラ等を加えることで業務の生産性はさらに高まるのではないかと。そういった観点から、テレワーク/サテライトオフィス向けにモバイルに特長のある関連製品の販売を当社としては活発に行っているところだ。関連企業との協業も行いたい。」(エルモ社 エルモソリューションカンパニー)

エルモ社では、単にWebカメラやマイクスピーカを使ったテレビ会議/Web会議にとどまらず、そこに、プロジェクターや書画カメラを加えることで、パソコンのデータではない紙



の書類や製品などの共有がさらにやりやすくなり、効果的なプレゼンテーションに役立つのではないかと考えている。

ビジュアルプレゼンターMO-1(写真左、エルモ社資

料)は、Web会議用カメラとしても使用できモバイル書画カメラ。本体重量は550グラムと軽量のため携帯性に特長がある。ビジネスバックに入れて運ぶこともできる。

500万画素CMOSセンサーに8倍デジタルズーム搭載しており、フレキシブルアームと回転カメラヘッドであらゆる角度からの安定した被写体撮影ができる。映像はフルHD映像(1080i、30fps)に対応。また、USB経由でパソコンに接続することでWeb会議システム用のWebカメラとしても使える(写真下、エルモ社資料)。音声については本体内蔵のマイクを使用する。



クを使用する。

MO-1への入力端子については、アナログRGBとHDMI入

力端子を装備し、PC・スマートフォン/タブレット・DVDプレーヤー・ブルーレイプレーヤーなどとの接続が可能。その他、



USB(電源供給可能)やSDカードスロットもある。

写真左：BOXi MP-350(エルモ社資

料)

一方、BOXiは、ビジネスからパーソナル用途まで対応するモバイルプロジェクター。ビジネスバックに入る携帯性にすぐれた小型軽量であるところが特長としている。モデルは「MP-350」(500g)、

**写真左: BOXi T-350(エルモ社 資料)**  
「T-350」  
(480g)、  
「T-200」(11  
月 21 日新発



売、300g)の3モデル。

独自の光学エンジンと高性能レンズを搭載。解像度は WXGA(1280x800)に対応し、HDMI を通じてブルーレイや DVD、あるいはゲーム機などからの映像を投影できる。焦点距離 1m で 50 インチの大画面投影が可能で、たとえば、6



**写真上: BOXi T-200(エルモ社 資料)** 畳のスペースがあれば、100 インチの大画面表示が行える。そのほか、使用時に便利な 7 秒起動 7 秒シャットダウンにも対応する。

その上、「MP-350」は、USB メモリを使った PC レスの投影が行えるとともに、PC・スマートフォン・タブレットと最大 4 台同時に WiFi 接続(ケーブルレス)し、切り替えたりして表示することもできる。

「T-200」は USB 給電に対応しており、PC との常時携帯が可能である。

もうひとつの、インタラクティブ書画カメラ L-12i は、オフィス内での持ち運びが可能なモデルで、エルモ社によると、サテライトオフィス向けの書画カメラとして最適という。

340 万画素 CMOS センサーを搭載しフル HD(1080p,30fps)に対応。360 度回転するスイングアームと光学 12 倍・デジタルズーム 8 倍の拡大率でいろいろな角度から被写体を大きく鮮明に映し出す。またズームダイヤル&ワンプッシュ AF ボタンを使い手元で簡単操作が可能。

電子黒板と接続して使用したり、USB カメラ機能で PC の

USB カメラとしても使用したりすることもできる。また、音声入出力にも対応し、内蔵マイクまたは外部音声入力からの音声は音声ライン出力および HDMI 端子から出力する形になる。記録については、SD カードや USB メモリに音声付き動画ファイルや画像データとして記録することができる。

「これらの製品は、高性能ながらコンパクトで持ち運びを想定して開発された製品のため、テレワークやサテライトオフィス環境での活用に適していると考えている。」(エルモ社 エルモソリューションカンパニー)

今年も 2013 年 12 月 10 日・11 日に東京都内にて「エルモソリューションフェア 2013」を開催。書画カメラ、電子黒板、「モバイルプロジェクター BOXi」、「多目的フィールドカメラ QBiC」、デジタル自主放送システム、フル HD 監視カメラ・HD-SDI 監視カメラなどエルモ社の最新のソリューションが展示された。

## ■インターコール・ジャパン、米 Tely Labs 社の低コスト HD テレビ会議システム「Tely HD Pro」の日本国内販売を開始

インターコール・ジャパン株式会社(東京都港区)は、米 Tely Labs 社の低コスト HD テレビ会議システム「Tely HD Pro」の日本国内販売を開始した。(取材:2013 年 12 月 11 日)



ディスプレイ(別売り)上部に設置されているカメラ等内蔵が Tely HD Pro 本体、ユーザ所有のディスプレイに簡単に設置可能。(インターコール 資料)

この販売開始は、11 月 12 日にインターコールアジアパシ

フィック社(シンガポール)より発表された Tely Labs 社との提携によるもの。これにより Tely Labs 社の Tely HD Pro を、日本を含めたアジア太平洋地域で販売する。Tely Labs 社はすでに北米ではテレビ会議システムを販売しており、米市場調査会社 Wainhouse Research 社によると北米において 14% の市場シェアを占めるまでに急成長している。2010 年に設立されたベンチャー企業。

Tely HD Pro は、720p HD に対応したテレビ会議システム。高品質なテレビ会議を低コストにしかも簡単に使えるものにするために、必要な機能に絞り価格を抑えているところが特長。ただし、外部マイクを加えると 6~10 人までの会議室でも使える。

Tely Labs 社はすでにコンシューマー向けのモデル (Skype 対応) を販売しており、この Tely HD Pro は、ビジネスでの利用を想定して必要な性能や機能を盛り込んで開発されているモデルとなる。インターコール・ジャパンはそのビジネス版を日本国内で販売する。

「Tely HD Pro は市場で販売されている他社性のテレビ会議専用機の 1/10 のコストで購入ができるのが魅力だ。しかも、低コストであっても最近テレビ会議で標準となっている HD に対応しているし、セットアップもとても簡単だ。画面メニューも直感的でわかりやすく誰でも使える。」(インターコール・ジャパン)

Tely HD Pro は、ディスプレイ上部に据え置きする本体とリモコンのみ。テレビ会議だけでなく資料共有などの機能もある。箱から出してから使用するまでのセットアップは、LAN へのケーブル接続、外部マイクの USB 接続、HDMI 対応ディスプレイへの接続、そして本体の電源を入れるだけですぐに使える。また、コールするなどの画面操作も付属のリモコンや、すでに所有しているスマートフォン/タブレットで簡単に操作(別途指定のアプリが必要)ができるようになっている。

なお、セットアップ時のネットワークの設定は基本的には自動で行ってくれるようになっている(後述の Blue Jeans Network とセットで使う場合)。加えて、有線 LAN だけでなく無線 LAN にも対応している。

インターコール・ジャパンとしては、この Tely HD Pro を、クラウド型ビデオ会議サービス「Blue Jeans」や、インターコールの電話会議サービス「Reservationless Plus 電話会議」と組み合わせたソリューションとして提供をおこなっていく考えだ。



**Tely HD Pro 画面メニュー例(インターコール 資料)**

Blue Jeans は、H.323 や、「Microsoft Lync」、Google ビデオチャット、PSTN などを相互に接続することができる接続サービス(定額)で、1対1の接続から多地点の接続まで対応している。多地点時では、多画面分割(CP)にも対応している。

「電話会議に近い価格でビデオ会議を利用できるのが Blue Jeans の特長だ。」(インターコール・ジャパン)

Tely HD Pro と Blue Jeans を組み合わせることで、Tely HD Pro 間だけでなく、Tely HD Pro とさまざまなビデオ会議端末とのビデオ会議接続が可能になる。また、そこに、インターコールの Reservationless Plus 電話会議も組み合わせることで、ビデオ会議と電話会議が混在した会議も行えるようになっている。そのほか、会議のスケジューリングや開催、参加、管理をシングルインターフェイスで簡単に制御できる機能も提供する。

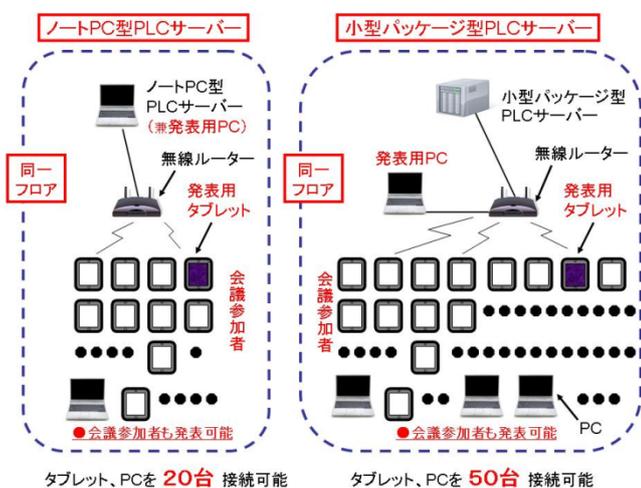
最近、市場ではさまざまな端末でビデオ会議が行えるというマルチデバイスの対応が進んでいるが、クラウド上で Tely HD Pro とインターコール、Blue Jeans の3者を組み合わせることで、低コストにしかも簡単に高品質なビデオ会議が実現することになる。

インターコール社は、電話会議、Web 会議 (WebEx/Adobe/Intercall Unified Meeting)、ビデオ会議、Blue Jeans、イベントサービス(Web キャストなど)、ユニファイドコミュニケーション(Microsoft Office 365)などをワールドワイドに提供している。また端末についても、Tely HD Pro 以外に、各メーカーの電話会議やビデオ会議端末、また Jabbra やヤマハのマイクスピーカも取り扱っている。導入から利用、サポートまでワンストップでサポートしている。

インターコール・ジャパンによると、Tely HD Pro は SMB など基本的には中小企業を想定して販売展開したいと考えている。

## ■NTT アイティ、ペーパーレス会議「ミーティングプラザ可搬 PLC サーバー」製品版を発売

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、ペーパーレス会議/講義が開催できる「ミーティングプラザ可搬 PLC サーバー」を12月17日より発売開始。(2013年12月17日)



### ノートPC型PLCサーバーと小型パッケージ型PLCサーバー (NTT アイティ 資料)

ミーティングプラザ可搬 PLC サーバーは、ハードウェアとソフトウェアが同一筐体に入った製品と市販の WiFi ルータのセットで提供する。ノートPCか小型パッケージ型の2種類がある。ノートPC型は同時接続20名までの会議、また小型パッケージ型は同時接続50名までの会議に適しており、両タイプとも、購入後、電源を入れるだけですぐに利用できる。

加えて、無線 LAN アクセスポイント機能を有しているため、ネット環境がない場所でも無線 LAN を利用した会議が行える。つまり、参加者が無線 LAN を使って PLC サーバーに接続する形。ネット接続なしの同一フロアでの利用のほか、社内イントラネットや公衆インターネットでの利用にも対応しているため遠隔地点からの参加も可能。

会議開催者が会議資料を事前に、または会議中にサーバーにアップすると、参加者のタブレットもしくは PC (対応端末:iPad/iPhone、Android、Windows PC、Mac)で資料を閲覧することが可能になる。その際、参加者は QR コードや URL で簡単に会議資料を取得できるようになっている。資料は Windows PC で起動できる MS Office などワープロ、表計算、プレゼン資料など対応している。

そして、発表者が自身の会議端末でページをめくりながら発表を行うと、参加者の端末では発表者に同期したページが表示される。発表者と参加者は相互に発表することが可能だ。加えて、参加者は同期したページ以外のページを自由に閲覧することもできる。

その中で、セキュリティの面では、会議資料は画像として参加者に配信されるようになっている。ディスプレイのビットマップメモリに展開されるだけでハードディスクなどに保存されることはない。そのため会議終了後参加者の端末にファイルが残らない設計となっている。

なお、PLC サーバーは、Web 会議サーバーとしても利用できるほか、ペーパーレス会議と Web 会議を混在して使用することも可能となっている。

表1 可搬PLCサーバーの仕様

	ノートPC型	小型パッケージ型
ペーパーレス会議室数	1会議室(別途費用で追加可能)	
ペーパーレス会議参加端末数	10端末	10端末
追加可能端末数	10端末まで(別途費用)	40端末 <sup>※</sup> まで(別途費用)
総重量(kg)	約2kg	約10kg
価格	オープン価格(ハード込み)	

※ 41端末以上追加の場合は、別途高性能サーバーを使用したソリューションでご提供いたします。

### 可搬 PLC サーバーの仕様(NTT アイティ 資料)

NTT アイティによると、年間 50 サービスシステムの販売を目指す。ミーティングプラザ可搬 PLC サーバーについては、同

社ミーティングプラザ事業部が担当窓口となっている。

## ■VQSマーケティングのWeb会議システム、スマートデバイスに対応

VQS マーケティング株式会社(本社:京都市南区、東京オフィス:千代田区)は、同社が提供する Web 会議システム「VQS collabo」と、教育向けの遠隔授業システム「VQS collabo V3 for Learning」に対して、スマートデバイスに対応した新クライアント「VQS collabo Mobile Meeting」を発表した。(2013年12月17日)

VQS collabo Mobile Meeting は、PC はもちろん、iPhone、iPad、Android などのスマートデバイスに対応。これら4つのデバイスが同時にインターネットを通じて、映像と音声による会話はもちろん会議資料の共有も可能だ。会議資料の共有においては、書き込みやマーキング(デジタルペンに対応)を行うこともできる。

また、従来の「交流用会議室(会議・交流型)」、「セミナー用会議室(セミナー型)」、「ディスカッション用会議室(少人数)」に加えて、Mobile Meeting 用の会議室を選択できるようになった。

さらに、スマートデバイスに対応することで、客先での営業活動サポートや、現場での進捗状況確認、出張先からの社内打ち合わせへの参加など VQS collabo の活用が広がるとしている。

VQS collabo は高音質(FM 放送・CD に匹敵する)が特長のひとつ。このためたとえ大手英会話学校での採用の決め手となった。また簡単に資料共有できるホワイトボード(特許取得済)、用途や帯域に合わせたさまざまなタイプの会議室に対応、低帯域でも安定した動作をする通信帯域制御、加えて、日本語以外にも英語に対応している。デバイスのOS が英語の場合はアプリケーションが自動で英語版に切り替わる。

VQS collabo Mobile Meeting の利用にあたっては、「VQS collabo Version3/V3 for Learning」の契約が必要。デバイスの動作環境については同社に確認要。

## ■沖電気工業、iPad 対応ビデオ会議アプリケーション「Visual Nexus Endpoint Mobile for iPad」の販売を開始

沖電気工業株式会社(東京都港区)は、ビデオ会議システム「Visual Nexus(ビジュアルネクサス)」に対応する iPad 対応ビデオ会議アプリケーション「Visual Nexus Endpoint Mobile for iPad」の販売を2013年12月17日より開始した。(2013年12月17日)

2013年7月に販売を開始したアプリケーション「Visual Nexus Endpoint Mobile for Android」による Android タブレット端末への対応に加え、今回 Visual Nexus Endpoint Mobile for iPad により iPad にも対応を広げたことになる。

Visual Nexus Endpoint Mobile for iPad は映像と音声による通話だけでなく、以下の点が可能。(1)会議中のプレゼンテーション資料の表示。(2)ビデオ会議専用端末や PC からビデオ会議に参加している他のユーザと同じようにビデオ会議に参加すること。(3)Android と iPad を混在して使用すること。

そのほか、iPad に搭載されている端末正面のカメラと背面カメラを通話中に切り替えることができるため、カメラで通話者だけでなく、周囲の様子などをビデオ会議参加者に容易に伝えることができる。

一方、映像コーデックは H.264、音声コーデックは G.711、MPEG-4AAC、最大解像度は CIF(送信)、w432P(受信)。資料共有は H239 形式に対応している。

企業でのタブレット端末導入は継続的に拡大しており、iPad も広く使われている。「遠隔コンサルティング」や「遠隔作業支援」、「BCP 対策」など、タブレット端末を用いたさまざまな用途で Visual Nexus の活用が広がる。

標準価格は Visual Nexus Endpoint Mobile for iPad、10 ユーザーライセンス 25 万円(税別)。Visual Nexus Endpoint Mobile for iPad アプリケーションは、Apple App Store より配信、iOS6.0 以降をインストールした iPad2 以降の各モデル、iPad mini、iPad Air が対応している。

沖電気工業によると、販売目標は、2013 年度に累計で



用できるようになった。世界 60 か国以上にローカルアクセスを提供し、会議参加者は電話をかけることで V-CUBE の Web 会議に音声で参加できる。一方、日本国内については、国内共通通話料のナビダイヤルを追加し、全国一律の通話料金で電話会議連携を利用できる。ただし、電話会議による Web 会議参加は、通話時間に応じたアクセスポイントまでの通話料が別途必要になる。

今回発表された標準提供については、12 月 20 日以降に新規にブイキューブサービスを申し込んだ顧客が対象となる。既存ユーザについては標準での提供を準備中という。

## ■ウェイズジャパン、クラウド型 Web 会議サービスを開始

株式会社ウェイズジャパン(東京都新宿区)は、クラウド型 Web 会議サービス「Fileforce ミーティング」の提供を 2014 年 1 月下旬より開始すると発表。(2013 年 12 月 25 日)



Fileforce ミーティング 画面イメージ<パソコン>  
(ウェイズジャパン 資料)



Fileforce ミーティング 画面イメージ<タブレット>  
(ウェイズジャパン 資料)

Fileforce ミーティングは、株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)からクラウド型 Web 会議サービスの OEM 提供をう

けたもの。

Fileforce ミーティングは、ネットワーク環境があればパソコンやタブレットから利用できる。「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」簡単に使えるビジュアルコミュニケーションサービスで、使いやすいインターフェイスデザインと 24 時間 365 日のサポートで手軽に Web 会議を始められるのが特長という。

本サービスを、ウェイズジャパンが提供するクラウド型ファイル共有サービス「Fileforce」の既存および新規のユーザに対して、より幅広いシーンで活用できるクラウドサービスとして提案し、「ワークスタイルに変革を」をコンセプトの一環としてペーパーレス会議の促進を進めていくとしている。

## ■NTT アイティ、最新のエコーキャンセラー技術で iPad ハンズフリーに対応

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、iPhone/iPad をヘッドセットなしにハンズフリーで利用できる Web 会議「ミーティングプラザ」クライアントプログラムを 1 月 10 日より提供開始する。(1 月 8 日)



### iPad ハンズフリーを利用した会議シーン例(NTT アイティ 資料)

NTT アイティのミーティングプラザは、3,000 社を超える導入実績をもつ Web 会議サービス。従来からタブレットを利用した Web 会議サービスの提供を行ってきたが、iPad 利用のユーザから「ハンズフリーで利用したい」という要望があり、「MeetingPlaza Mobile」iPhone/iPad 版のエコーキャンセラー機能を強化改良し、ハンズフリーに対応した。

ハンズフリーの効果としては、iPad の移動が容易になる点。カメラ映像の撮影ポイントを変更すれば臨場感あふれる状

況報告が行える。また、1拠点に数人が参加する Web 会議サービスとして利用することもできる。

一方、最新のエコーキャンセラー技術のため、会議周囲の音声の雑音低減やハウリング、エコー等の発生頻度も低減している。

提供形態は、NTT アイティが運用するミーティングプラザサーバを共同で利用するクラウド型サービスと、オンプレミス型の2形態で提供する。1月10日より提供開始。既にクラウド型サービスを利用の場合は、App Store より、iPhone/iPad用のクライアントプログラムをダウンロードするだけでハンズフリー機能が利用開始できる。動作条件は同社に確認要。

価格については、クラウドサービス利用ユーザについては、価格変更はないが、オンプレミス利用ユーザについては、MP モバイルオプション(iOS)ライセンス(オープン価格)の購入が必要となっている。

## ビジネス動向-国内

### ■NTT コミュニケーションズ、Web 開発者向けに WebRTC プラットフォーム「SkyWay」の提供開始およびライブラリ・ソースコードの公開

NTT コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区)は、WebRTC 技術を活用するために開発したプラットフォーム「SkyWay」の無償提供と、ソフトウェア開発支援サービス GitHub 上における SkyWay のライブラリ・ソースコードの公開を開始した。(12月5日)

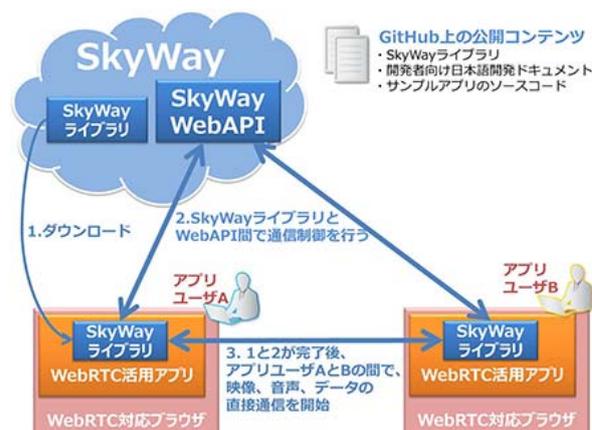
WebRTC はパソコンやスマートフォンのブラウザ間でのリアルタイム通信を実現する技術。広義の HTML5 のひとつとして、W3C と IETF において標準化が進められている。

NTT コミュニケーションズは、SkyWay を活用した WebRTC アプリケーションを簡単に開発できる環境を提供する。国内初の公開トライアルで WebRTC の普及を促進する目的。

SkyWay では、仲介サーバーの WebAPI を提供する。仲介サーバーは、株式会社時雨堂の協力のもと、Erang/OTP で開発されており、API の仕様は PeerServer と互換性がある。

る。

また、ブラウザ間の直接通信を確立する際に必要な通信処理とブラウザ間の通信処理を簡便に記述できるようにするための JavaScript ライブラリのソースコードを NTT コミュニケーションズの公式 GitHub アカウントにて公開する。ただし、PeerJS を利用し一部を改変している。



### SkyWay を活用したアプリケーション例 (NTT コミュニケーションズ 資料)

SkyWay の紹介サイトを GitHub Pages にて公開する。合わせて SkyWay 開発者向けドキュメントを公開。これは PeerJS の開発者向けドキュメントの日本語訳をベースにしている。

その他、SkyWay を活用したサンプルアプリケーションを開発し、ソースコードを GitHub で公開する。なお、この第一弾として、ボイスチャットを行いながら、その音声をリアルタイムでテキストメッセージに変換しコミュニケーションすることができる「字幕付きボイスチャット」を公開する。SkyWay を活用したサンプルアプリケーションは、今後順次追加していく予定とのこと。

NTT コミュニケーションズは、今回フィールドトライアルとして SkyWay を Web 開発者に無償で公開する。またこのトライアルで得た知見を元に機能を改善し信頼性を高め、正式なサービスとしてのリリースを目指している。

## 製品・サービス動向-海外

### ■Acano 社、ビデオ会議システム運用マネジメントプラットフォーム「Acano Manager(アカノマネージャ)」を発表

米 Acano 社は、ビデオ会議システム運用マネジメントプラットフォーム「Acano Manager(アカノマネージャ)」を発表した。(2013年12月16日)

Acano Manager は、Acano ソフトウェアやサードパーティ MCU の大規模展開 (large deployment) 向けのプラットフォーム。大規模展開をより低コストに簡単に実現するためのもの。

Acano ソフトウェアで、音声、ビデオ、Web を交えたコラボレーションが「coSpaces」上で行えるが、Acano Manager は、シングルインターフェイスで制御できる、ソフトウェア管理、コール管理、セルフサービス予約 (マイクロソフト Outlook 対応)、モニタリング、レポート、Cisco/Polycom MCU 管理 (アラートやポート利用状況)、マルチテナント、課金システムの機能をひとつの統合されたプラットフォーム上で実現している。

Acano Manager は、現在ユーザ数限定 (select organizations) で提供されているが、2014年1月には一般ユーザ向けの販売 (General Availability) を開始する予定となっている。

### ■ChorusCall 社・Aver 社・Logitech 社、コラボレーションソリューションを共同提供

多地点接続サービスを提供する ChorusCall 社 (米、ペンシルバニア州、日本支社: Chorus Call Asia 株式会社、東京都中央区) は、コラボレーションソリューションを共同で提供する目的で Aver Information 社 (台湾) と Logitech 社 (スイス) と提携したと発表。(2013年12月17日)

この3社の提携で、「Chorus Call Virtual MCU Video Collaboration Bundle(コーラスコール バーチャル MCU ビデオ コラボレーション バンドル)」を提供する。

このバンドルには、Web カメラ、バーチャル MCU (VMCU)、

会議コントロールダッシュボード、「Aver EVC100」テレビ会議システムなどが含まれる。

このバンドルの特長には、導入規模を問わず、シンプルで簡単に導入でき、しかもカスタマイズにも対応するなどがある。その上、ポートの柔軟性 (port flexibility) や利用無制限 (unlimited availability)、シングルソースセキュリティ (single source security)、手厚いサポート (specialized support) によって導入の敷居を下げるメリットがあるとしている。

提供開始は、2014年1月から。導入キャンペーン (incentive program) も実施する。最初の25ユーザ企業は Web カメラやソフトウェアエンドポイント「Companion」を無償で提供する。(CNA レポート・ジャパン: 日本での提供も含め詳細は同社に確認要)

### ■Pexip 社、ソフトウェアベースのビデオ会議プラットフォーム「Pexip Infinity Version 3」を発表

Pexip 社 (ノルウェー、オスロ) は、ソフトウェアベースのビデオ会議プラットフォーム「Pexip Infinity Version 3」を発表した。(2013年12月18日)

Pexip Infinity Version 3 では、以下の機能などに対応した。  
 (1) マイクロソフト社の仮想化システム「Hyper-V」に対応。  
 (2) Google Chrome 上で、WebRTC を使った双方向データ共有。  
 (3) SNMP v2c (シンプル ネットワーク マネージメント プロトコル) に対応。  
 (4) 音声符号化方式 G.729 に対応。  
 (5) VMWare vMotion ライブマイグレーションをフルサポート。

## ビジネス動向-海外

### ■FuzeBox 社と Internet2、共同で HD ビデオ会議サービスを米国内教育・研究機関に提供

クラウドベースのコラボレーションサービスを提供する米 FuzeBox 社は、Internet2 (Wikipedia 参照: アメリカ合衆国の最先端ネットワーキングコンソーシアム) とパートナーシップを締結した。(2013年12月4日)

このパートナーシップによって、FuzeBox 社と Internet2

は、米国内の大学などの教育機関や研究機関にHDビデオ会議サービスを共同で提供する。また、今回、Internet2 NET+Early Adopter Status を達成した。これはFuzeBox社のサービスが厳しい評価テスト(evaluation process)によってその品質が認められた結果という。

FuzeBox社は、HDビデオ会議・Web会議・音声会議をモバイル・デスクトップ・ルーム・教室などから利用できるクラウドベースのコラボレーションサービスを提供している。また既存のビデオ会議専用端末との接続も可能という。このサービスは、ブラウザ、Windows/Mac/Linuxに対応したFuzeBoxクライアントアプリケーション、スマートデバイス(iOS/Android)に対応している。

## ■ClearOne社、Dialcom Networks社からコラボレーション事業の譲り受け

米ClearOne社は、スペインのDialcom Networks社からソフトウェアベースのクラウド コラボレーション ソリューション「Spontania」を譲受する。(1月7日)

譲り受け金額は、365万ユーロ(500万米ドル)。Spontaniaによって、現在販売しているオンプレミスベースの「COLLABORATE(VCON)」を強化し、ClearOne社として、成長著しいデスクトップやモバイルビデオコミュニケーション市場における幅広いニーズに対応することが可能になるといふ。

「ClearOne社は、今回の事業譲り受けにより、パブリッククラウドからプライベートクラウド、そしてオンプレミスまで対応したビデオ会議ソリューションを音声ソリューションとともに提供できるようになった。パートナー、顧客などに新たな機会を提供できるものと考えている。」とコメントを出している。

今回Dialcom Networks社からの事業譲渡について、ClearOne社としては、保有現金にてSpontania事業資産を取得する形。借金や現金の譲受はない。規制官庁での問題がなければ譲受手続きは2014年の第一四半期に完了する予定。

## 導入利用動向-国内

### ■日本 IBM と兼松エレクトロニクス、八十二銀行のテレビ会議システム導入を支援

日本IBM株式会社(東京都中央区)と兼松エレクトロニクス株式会社(東京都中央区)は、株式会社八十二銀行(長野県長野市)のシスコシステムズ社製テレビ会議システム導入の支援を行った。(1月7日)

テレビ会議システム導入は、非常事態発生時の通信手段複線化およびコミュニケーションの円滑化を図る目的があり、2013年10月より本部と地区幹事店など16店舗で先行導入され、今後すべての営業店に順次展開される予定。

八十二銀行は「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念に掲げ長野県を主な営業基盤とする地方銀行。2012年4月から取り組んでいる「第29次長期経営計画」では「IT化によるインフラの強化」を掲げ推進しており、その一環として今回テレビ会議システムが導入された。

導入されたテレビ会議システムは、災害等の非常事態発生時の通信手段として、営業店の被害状況や職員安否の確認、本部・営業店間の円滑な意思疎通を支援する。たとえば、災害時に本部や一部の営業店が被災した際、従来から利用する固定電話、携帯電話、電子メールに加えて、テレビ会議システムを活用する。これにより、対策本部と各営業店における音声と映像の双方向通信による被害状況の把握と円滑な業務継続の手段を拡充することが可能になる。

金融機関においては、テレビ会議システム活用によるフロントエンドサービスの拡充や、社員教育など多様な利用が広がりつつあり、八十二銀行においても、今後、行内会議や行員研修などに活用を拡大していく予定という。

今回の導入にあたっては、テレビ会議の構築においては、ネットワークの設計と帯域制御が重要であるため、金融機関の営業店間および本部と営業店を結ぶネットワークの設計・運用における日本IBMのノウハウ、兼松エレクトロニクスの同システムに関する豊富な実績が評価された。

株式会社八十二銀行 <http://www.82bank.co.jp/>

## セミナー・展示会情報

<国内>

### ■【“見える”カレッジ】Web 会議サービスの活用メリットとは ～海外拠点や取引先を V-CUBE ミーティングで繋ぐ～

日時:1月16日(木)14:00～16:30

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/116>

### ■【“見える”カレッジ】ブイキューブの Web 会議サービスが選ばれる理由 ～電子黒板やポリコムと連携して、学習効果アップ～

日時:1月23日(木)14:00～16:30

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/117>

### ■～ビジュアルコミュニケーションは社内利用だけではない！ ～クラウドを活用することで実現する、新しい顧客とのコミュニケーションの実現方法とは～

日時:1月27日(月)14:00～16:00(受付:13:30)

会場:サイボウズ・セミナールーム(東京都文京区)

主催:サイボウズ株式会社、株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/118>

### ■持ち出さないともったいない！「iPad」営業活用セミナー ～Web セミナーで遠隔アプローチ&資産管理でデバイス利用促進～

日時:1月28日(火)15:30～17:40(受付:15:00)

会場:ソフトバンクテレコム(東京都港区)

共催:株式会社ブイキューブ、エムオーテックス株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社

詳細・申込:

<https://softbanktelecom.smartmarketing.jp/public/seminar/view/228>

### ■【人事部必見！】助成金を活用したプログラミング研修の方法 と遠隔研修の最新事情のご紹介

日時:2月12日(水)13:30～15:00

会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/119>

### ■Polycom Day

『生産力をあげるビデオ会議:製造業向けソリューションのご紹介』  
製造業界での導入事例や活用シーンを含め、デモンストレーション

日時:2月26日(水)15:30～16:30(受付:15:30)

会場:ポリコムジャパン セミナールーム

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

## CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年 [http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年 [http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/)

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

## 編集後記

今年第一号の定期レポートをご覧いただきありがとうございます。

今年も、このCNAレポート・ジャパンをご覧いただく方々に少しでも何かにお役に立てればと思っております。

本年も何卒よろしくお願い致します。

CNAレポート・ジャパン 橋本啓介